

12/23 構内運転分科会4回定期委員会開かる

十二月二十三日、十時より、動力車会館において構内運転分科第四回定期委員会が開催されました。

少数でも大きな目標をもって闘う
鳥田会長のあいさつ

安田副会長の開会宣言で始まり、挨拶にたった鳥田会長は「本日の委員会は『59・2』ダイ改をむかえ、反合闘争のステップとしての委員会です。ジェット燃料貨車輸送は終わりましたが、今後もし三里塚を基軸とした労働運動を闘っていきたく思います。今日まで、職制改正、高令者対策、待遇改善等、大きな成果をかちとってきました。構内分科は少数でも、大きな目標を抱いて最後の最後まで闘い、そして本委員会の成功をかちとっていきたく」と決意をこめて挨拶がされました。

続いて、本部を代表して布施書記長より、今日の情勢と当面する「59・2」ダイ改、「内達」動乗動、「84春闘」について提起が行われ、とりわけ10・9三里塚、11・9レーガン来日阻止闘争をはじめとする今秋期連続闘争の偉大な勝利を確認し、三里塚・国鉄を基軸に反動中曾根内閣打倒の路線のもと、来春、3・25三里塚への全力決起が訴えられ、これを受けて質疑討論が行われました。

活発な討論を経て運動方針を決定
主な意見は、
①職制改正の大きな成果と問題点②「59・2」ダイ改、③特退時の条件、④定数枠の拡大、⑤他職種との職群格差について、⑥予科生の学園入所について等、多数出されました。



午後からは、「59・2」ダイ改問題にしばって討論し、布施書記長より総括答弁をうけて、決算、財政方針、運動方針が満場一致で決定され、構内運転分科一丸となって闘っていくことを確認し、成功裡のうちに終了しました。

構内作業の見直し 民託化を許さず闘う

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

—支部通信員・発—



つきあてのもちをつまみに大カラオケ大会

成田支部が恒例のつきあ大会

十二月十八日、成田支部組合事務所となりの広場において、「第三回OB、家族、支部団結もちつき大会」が開かれました。

もち米三俵をつきあげ、
団結力を示す

寒風吹く悪コンディションにもかかわらず、朝七時より川島サークル部長の音頭により釜に火が入られ、うす三台、もちつき機一台により、もち米三俵が家族、OB、組合員の見守る中、またたく間につきあがり、組合員の団結「力」を見せてくれました。

子供達も、この日だけは「さすがお父さん」と見直すシーンもありました。

午後一時半より、OB、家族、組合員の親睦会が開かれ、酒がほどほどに入るとカラオケ同好会の鈴木三男さんの司会により、大カラオケ大会となりました。

OBの方達も年一回のもちつき大会を楽しみにしているようで、昔話に花が咲きました。

最後に、日暮支部長の音頭により、来年も団結してガンバローを三唱して散会しました。